



社会福祉法人 みなと寮

み な と

第 2 号

発行：社会福祉法人 みなと寮 ホームページ <http://www.minatoryo.or.jp>



夕方から、模擬店が開催されると美味しく食べたいものが、取り組んで参ります。〔救護施設千里寮 伊藤忍〕

今年も多くのお客様にお越し頂きました。利用者も、普段とは違うお祭り雰囲気味わっていただけたらいいですね。お祭り雰囲気です。焼きたての焼きそばを食べて、楽しい時間を過ごしたいですね。焼きたての焼きそばを食べて、楽しい時間を過ごしたいですね。

好評でした。型のある打ち方が団体演舞のように美しく、力強く感じられました。西原さんは「ハナミズキ」や「川の流れるように」などを歌われ、その歌声は透き通るほど繊細で、柔らかく、利用者はもちろん、多くのお客様にも大変好評でした。

続いての、るんぴに太鼓の演奏は、太鼓のリズムのみでしたが、叩く強弱と型のある打ち方が団体演舞のように美しく、力強く感じられました。



第16回千里祭を開催

10月7日(土)に第16回千里祭を開催しました。この千里祭は、現在の施設が竣工されてから始まり、今年で16回目を迎えました。当法人の中では中心的なイベントと位置づけられており、法人各施設・事業所の職員が多数運営に携わっています。

当日、提灯や屋台を準備する職員を見て、自分から手伝ってくれる利用者もいて、お祭りを楽しくしてくれている様子が伝わってきました。職員としても開始が待ち遠しかったです。例年通り、近隣の福祉施設や地域住民の方も大勢ご案内させていただきました。

プログラムは、コミュニティホールでの「コンサート」「和太鼓演奏」に続いて庭園スペースで「模擬店」が行われました。

今年の催し物は、音楽を愛し美しい声で歌うアカペラグループNo.1(ノール)の西原純子さんと、太鼓の迫力とその打ち様が格好いい、るんぴに太鼓さんです。

西原さんは「ハナミズキ」や「川の流れるように」などを歌われ、その歌声は透き通るほど繊細で、柔らかく、利用者はもちろん、多くのお客様にも大変好評でした。

続いての、るんぴに太鼓の演奏は、太鼓のリズムのみでしたが、叩く強弱と型のある打ち方が団体演舞のように美しく、力強く感じられました。

トピックス

施設職員軟式野球大会 4連覇

第39回施設職員軟式野球大会が、平成29年8月30日(水)と31日(木)に、舞洲スポーツアイランドにおいて開催されました。週の初めから降り続く雨で、天候が心配されましたが、当日は好天に恵まれ、野球大会日和となりました。今大会31日の部は大阪府下の福祉施設から7チームが参加し、白熱した戦いが展開されました。

当法人としては4連覇がかかった大会とあって、参加メンバーも気合い十分。予選リーグは、過去に優勝経験がある四天王寺福祉事業団、大阪市児童福祉施設連盟といった強豪チームが同じブロックとなったことで、チームの士気も高まりました。

予選リーグは、強豪相手に苦戦を強いられましたが、なんとか決勝トーナメントへ勝ち上がりました。決勝戦の相手は、大阪市児童福祉施設連盟。一回表、川見選手の安打等で4点を先制し、三回表にも藪端選手のタイムリー2ベースヒット、相手のエラーも絡んで5点を追加。投げては、先発



平原投手がノーヒットノーランに抑え9対0で勝利し、大会4連覇を達成しました。

来年度、第40回大会でもベストを尽くし、大会5連覇できるように層層励んでいきたいと思っております。

スケジュール

- 11月 9日(木) 階層別研修
- 14日(火) 第18回大阪救護施設合同文化事業
- 15日(水)・16日(木) 第三者評価受審(愛港園)
- 18日(木) 平成30年度4月採用予定者内定式
- 21日(土) 第2回介護保険事業部合同研修会
- 12月 8日(木) 第三者評価受審(築港デイサービスセンター)
- 14日(金) 理事会

平成29年度 法人内第1回階層別研修

9月27日(水)、ホテル大阪ベイタワーにて、平成29年度法人内第1回階層別研修を実施しました。

この研修は、職員の定着率向上を目的に1年目から3年目までの職員を対象とし、平成27年度から実施しております。

今年度は37名を対象に、「これまでの仕事内容の振り返り」「経験年数に応じた役割を果たしているか」等をテーマにグループディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、さまざまな意見が飛び交い、普段関わる事の少ない法人内の他施設職員との意見交換・情報共有の場となりました。



生活困窮者自立相談支援事業のご紹介

平成27年度より(淀川区は平成28年度より)、大阪市の委託を受けた当法人と社会福祉協議会が共同で事業を行っている生活困窮者の総合相談窓口です。窓口は各区役所にあり、区民の方に親しみを持ってもらえるような窓口名称になっています。

業務の内容は、生活に困っている方の幅広い相談に応じ、既存の制度や機関では十分に対応できない相談についても包括的に受け止め、相談者の思いを大切にしながら自立のための支援計画を策定し、適切なサービスや機関に繋げていきます。

さらに、関係機関とのネットワークをつくり、インフォーマルな資源も含めたさまざまな社会資源と結びつけながら課題の解決をめざしていきます。



港区 ぐらしのサポートコーナー

- 港区 「ぐらしのサポートコーナー」 港区役所2F
- 西区 「ぶらっとほーむ西」 西区役所3F
- 淀川区 「生活自立相談窓口」 淀川区役所3F

事業所紹介

生活福祉事業部

- 救護施設
 - みなと寮(河内長野市)
 - 大阪市立港晴寮(大阪市港区)
 - 大阪市立第2港晴寮(大阪市港区)
 - 千里寮(吹田市)
 - りんくうみなと(泉南市)
- 更生施設
 - 京都市中央保護所(京都市)
 - (緊急一時宿泊事業を併設)
- 委託事業
 - 生活困窮者自立相談支援事業(大阪市港区・西区・淀川区)
 - 生活困窮者就労準備支援事業(吹田市)
 - 居住生活サポート事業(堺市)
 - ホームレス居宅定着支援事業(京都市)

介護保険事業部

- 大阪市立弘済院第1特別養護老人ホーム(吹田市)
- 特別養護老人ホーム愛港園(大阪市港区)
- 特別養護老人ホーム第2愛港園(大阪市港区)
- グループホームときめき(大阪市港区)
- 港地域在宅サービスステーション(大阪市港区)
- 築港地域在宅サービスステーション(大阪市港区)
- 港区南部地域包括支援センター(大阪市港区)
- (認知症初期集中支援推進事業を併設)

介護保険事業

愛港園では、可愛いチャダンスチームによるキレの良いダンスパフォーマンスから地域の女性会による舞踊などが披露されました。

みなとデイ・築港デイでも、複数回に分けて敬老会を開催し、落ち着いた雰囲気の中で記念品を贈呈した後、スタッフによる催し物で精一杯の御祝いの気持ちをお届けしました。

〔みなとデイサービスセンター梅川健司〕



記念品贈呈の様子

敬老祝賀会が開催されました

平成29年9月17日、法人内介護保険施設・事業所にて、敬老祝賀会が開催されました。介護保険事業部では年間最大の催しものであり、多くの方々にお越し頂きました。

大型の台風18号が日本列島直撃という予報を受け、開催が危ぶまれましたが、幸いにして予想速度が遅れた候ももちこたえ、各施設で盛大に執り行うことができました。

それぞれの施設では、祝賀式と演芸会に分けて構成され、祝賀式には来賓として、地域の福祉関係の皆様にもお越しいただき、喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿を迎えられた方々に大西理事長より祝辞と記念品が贈られました。

昼食ではそれぞれの施設が御祝いの料理に工夫を凝らし、鯛やローストビーフ、ちらし寿司と華やかなメニューが並び自然と顔がほころびます。御祝膳では、各施設の特徴が現れ毎年切磋琢磨しています。

演芸会の様子として、弘済院第1特養では、アメリカ音楽から童謡、歌謡曲に沖縄民謡と幅広いジャンルの生演奏に大変盛り上がりました。大迫力の獅子舞も登場し、会場は熱気と笑顔に包まれました。



演芸会の様子

生活福祉事業

第32回みなとフェスティバル

9月2日(土)、みなとフェスティバルが開催されました。開催日より前日から皆様楽しみにされており、職員と一緒に飾り付けを手伝ってくださる利用者もおられました。

フェスティバルは二部制となっており、第一部は、河内長野吹奏楽団「ブルーウインズ」による演奏が行われました。利用者の年齢層に合わせ、懐かしい曲をたくさん演奏していただき大好評でした。



ブルーウインズによる演奏

第二部は、屋台をまわっての夕食です。やきそば・回転焼きなど計6種類の屋台が並びました。普段とは全く違う雰囲気の中の食事に着が進んだようで、いつも以上にたくさん食べられていました。

利用者の笑顔が溢れる一日となりました。

〔救護施設みなと寮 高木智恵〕

利用者も楽しむ「りんくうみなと祭」



今年度は職員と利用者が一体になって、準備委員会を開催し、店舗運営に向けて準備を進めていきました。

当日は、職員と共にヨーヨー釣りなどのゲームの店舗設営や飾り付けを行い、お祭りが始まると、看護学校のボランティアさんと一緒に呼び込みや景品を渡すなど運営に携わりお祭りを盛り上げてもらいました。

当日の様子は盛況で、来所されたご家族も楽しんでおられました。店舗に携わった利用者からは「楽しかった」「また、機会があればやりたい」等の声が聞かれ、次回開催に向けての想いを巡らせていました。

〔りんくうみなと祭準備委員〕

9月28日(木)に施設の屋上で毎年恒例の納涼会を開催しました。当日は入所利用者の方を始め、退所された利用者の方・ご家族・地域の方々、あいらぶ工房、海の子学園の利用者が参加されました。

今年の店舗は定番のキャベツ焼き、から揚げ・ポテトに新店舗の点心・豚汁始め、たこ焼き・ウインナー・アイスクリーム等、多くのメニューがあった中で豚汁が好評でした。福引き・ボール入れ・子供達用ボールすくいでは、子供から大人まで多数の方が楽しまれていました。

地域の方がお帰りの際に「ありがとう、楽しく過ごせました」と言葉をお返し、地域福祉の拠点としての役割を果たしているという気持ちが一層強くなりました。

納涼会は各施設で年1回行っていますが、毎年同じ形で行うのではなく、施設の特徴を表現する、斬新なアイデア等を心がけることで、より一層盛り上がると思います。

〔救護施設港晴寮 池田隆弘〕

港晴寮納涼会



9月の高齢者福祉月間にあわせて、今年度100歳を迎えられる方へ内閣総理大臣からのお祝い状と記念品贈呈のため筋原港区長が表敬訪問にいられました。愛港園では3名の方が対象となり、その内2名がご家族と共に贈呈式に出席されました。

区長からの祝辞と記念撮影後の談笑中に、長生きの秘訣を伺うと「よく食べ・よく寝て・良く笑うこと」と教えていただきました。ご本人はもとより、ご家族にも大変お喜びいただき心あたたまる一時となりました。職員一同ご長寿を心からお祝い申し上げます。

〔愛港園 辻下 誠〕

公益的な取り組み

毎号シリーズで公益的な取り組みをご紹介します。第2号はりんくうみなの取り組みです。りんくうみなどでは障がいのある方無にかかわらず、支援が必要な方に対して就労の機会を提供する就労訓練事業を実施しています。

主な訓練の内容は、施設内の清掃作業や内職作業への参加、ステップアップ後は利用者への内職作業の助言や食事介助などの施設職員の補助的な役割を担って頂いています。また、約1200平方メートルの遊休農地を借りて、農業体験ができる「りんくうファーム」を実施しています。

この様に参加者の希望や能力に応じたさまざまな訓練メニューを準備しています。

これからも、救護施設の枠組みにとらわれず地域の方へ提供できるサービスを実施していきます。

〔救護施設りんくうみなど 大野 満〕



農業体験「りんくうファーム」

職員交流研修



法人内の施設間での相互のサービスレベル向上を目的に職員交流研修を行いました。

現場主任クラスで構成する法人内主任会議での「同じ法人でも施設のハード面や地域ニーズ等の違いがあるためお互いの施設の実態が把握しにくい」「学ぶ機会があればより良い支援を探れるのでは」といった意見交換から生まれた取り組みです。

まずは愛港園と弘済院第1特養から2名ずつ3日間実施しました。ある程度経験年数のある職員を対象にしたのですが、普段当たり前の業務にこそ再発見があることとやちよとした工夫で業務改善につながる早速好感触です。

客観的な視点と疑問点を養うために継続的に交流すること、法人全体のレベルアップが期待できます。

